

事後評価シート

番号	事業名 箇所・地区名	市町村名	事業概要	事業期間			事業費 (百万円)	対象 理由 ※2	事後評価の結果 ※3	総合評価	担当課	特記事項																																				
				着手	※1 再評価	完成																																										
2	経営体育成 基盤整備事業 北岡松地区	えびの市	区画整理 A=31.8 ha 農業用水 A=1.0 ha	H14	—	H26	1,308	①	<p>【1 全体計画】</p> <p>受益面積： 32.8 ha (水田 32.8 ha、畑 ha、樹 ha)</p> <p>主 区画整理 31.8 ha (水田 31.8 ha、畑 ha、樹 ha)</p> <p>要 農業用水 1.0 ha (水田 1.0 ha、畑 ha、樹 ha)</p> <p>工 事</p> <p>受益者数： 72 人</p> <p>【2 事業目的】</p> <p>当地区は、えびの市の北西部に位置する中山間地に位置し、水田及び転作畑地には飼料作物が主に生産されている地域である。 水田は、白川により天神免水路を経て用水を確保しているが大半は田越しによるものであり干天時期など水不足が生じ営農に支障をきたしている。又、生産基盤事業が入っていないため農道、進入路等の整備がされておらず農業用車輛等が離合できないことや、ほ場も狭小で不定形であるため、大型機械への転換が出来ない状態にある。 よって、大区画、用排水路の整備を実現するほ場整備に取組み、農業生産性の向上を目指す土地基盤整備が必要である。</p> <p>【3 事業効果の発現状況等】</p> <p>区画整理、農業用水整備により、ほ場が大区画化となり、農業生産性が向上した他、パイプラインによる用水管理および農道の整備により、営農の効率化が図られている。 また、耕地利用率の増加、さらには、認定農業者や農業生産法人等による農地利用集積が図られている。</p> <p>【営農体型の変化】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>整備前</th> <th>現在</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>表作</td> <td>37.8ha</td> <td>30.0ha</td> <td>△ 7.8ha</td> </tr> <tr> <td>裏作</td> <td>7.5ha</td> <td>26.3ha</td> <td>18.8ha</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>45.3ha</td> <td>56.3ha</td> <td>11.0ha</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>整備前</th> <th>現在</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耕地利用率</td> <td>119.8%</td> <td>171.6%</td> <td>51.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【農地の変化】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>整備前</th> <th>現在</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農地集積面積</td> <td>5.3 ha</td> <td>19.0 ha</td> <td>13.7 ha</td> </tr> <tr> <td>農地集積率※</td> <td>13.5 %</td> <td>57.9 %</td> <td>44.4 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>※農地集積率=農地集積面積/受益面積×100</p> <p>【4 事業による環境の変化や環境の保全】</p> <p>主工事となる区画整理に伴う農地の法面については、植物が自生できるよう、ブロック積・マルチ吹付等を行っていない。また、農業用水施設(パイプライン)については、農道下へ埋設となっており、大きな環境への負荷はなく、事業実施による環境の変化は見られない。</p> <p>えびの市土地改良区(旧北岡松土地改良区)及び北岡松地区維持管理組合において適切に維持管理を行っており、多面的機能の維持・発揮及び施設の長寿命化に積極的に取り組んでいる。</p> <p>【6 今後の課題等】</p> <p>更に、農業生産性の向上や地域の担い手への農地集積・集約化を進める。</p>		整備前	現在	増減	表作	37.8ha	30.0ha	△ 7.8ha	裏作	7.5ha	26.3ha	18.8ha	合計	45.3ha	56.3ha	11.0ha		整備前	現在	増減	耕地利用率	119.8%	171.6%	51.8%		整備前	現在	増減	農地集積面積	5.3 ha	19.0 ha	13.7 ha	農地集積率※	13.5 %	57.9 %	44.4 %	事業効果が認められる。	農村計画課	特になし
	整備前	現在	増減																																													
表作	37.8ha	30.0ha	△ 7.8ha																																													
裏作	7.5ha	26.3ha	18.8ha																																													
合計	45.3ha	56.3ha	11.0ha																																													
	整備前	現在	増減																																													
耕地利用率	119.8%	171.6%	51.8%																																													
	整備前	現在	増減																																													
農地集積面積	5.3 ha	19.0 ha	13.7 ha																																													
農地集積率※	13.5 %	57.9 %	44.4 %																																													

※1 再評価の実施年度については、直近のものを記載すること。

※2 対象理由は、「①：全体事業費が基準額以上であり、かつ事業完了後一定期間が経過した事業」又は「②：再度、事後評価の必要があると判断した事業」の番号を記載する。

※3 事後評価の際には、出来る限り客観的な数値を記載すること。